

想定最大規模の降雨による 洪水浸水想定区域等の公表について

～的確な避難行動につながる防災情報の周知～

帯広開発建設部では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づき、関係機関と連携して、ハード・ソフト一体となった減災の取組を進めているところです。

減災の取組の一環として、市町村長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難に役立つよう、十勝川水系札内川、帯広川、途別川、猿別川、十弗川、下頃辺川、浦幌十勝川、浦幌川において、想定最大規模の降雨による洪水浸水想定区域や家屋倒壊等氾濫想定区域を公表しました。

なお、十勝川水系利別川は平成28年6月30日に、十勝川水系十勝川及び音更川は平成28年7月29日に、それぞれ公表しております。

平成27年の水防法改正を踏まえ、これまでの洪水浸水想定区域^{*1}を見直し、公表しました。今回、洪水浸水想定区域等を公表した水系は、別紙のとおりです。

洪水浸水想定区域等は、以下の場所で閲覧できるほか、帯広開発建設部ホームページ（URLは以下に記載）で公表しておりますのでご参照ください。

●閲覧場所

帯広開発建設部 治水課（帯広市西4条南8丁目）、帯広河川事務所（中川郡幕別町札内西町73番地6）、池田河川事務所（中川郡池田町利別東町）

●ホームページ

帯広開発建設部 <http://www.ob.hkd.mlit.go.jp/hp/bousai/shinsui-soutei/index.html>

【効果】

今回の公表では、想定し得る最大規模の洪水により浸水が想定される区域と深さに加え、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域を示した家屋倒壊等氾濫想定区域^{*2}も公表しています。これらの情報により、市町村長による避難勧告等の適切な発令や住民等の主体的な避難の取組が進むことが期待されます。

洪水浸水想定区域等は、浸水区域に含まれる市町村に通知され、当該市町村は今後、「早期の立退き避難が必要な区域」を示した洪水ハザードマップを作成することとなります。

※1 洪水浸水想定区域とは

水防法第14条第1項の規定により、対象とする河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域です。平成27年水防法改正では、洪水浸水想定区域の前提となる降雨を、従前の河川整備の基本となる計画降雨から想定最大規模の降雨に変更し、全国の河川で見直しが行われます。

※2 家屋倒壊等氾濫想定区域とは

一定の条件下において、家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域です。

<p>【問合せ先】 国土交通省 帯広開発建設部 電話0155-24-4105 治水課 治水課長 中島 康博（内線 291） 治水課 上席治水専門官 河合 崇 （内線 504）</p>

公表済み河川

- ・十勝川水系利別川(平成28年6月30日公表)
- ・十勝川水系十勝川(平成28年7月29日公表)
- ・十勝川水系音更川(平成28年7月29日公表)

